

リーディングに関する共通指導項目 2007. 12. 11

総合英語 I,II,III の授業において、リーディングの指導をする際には、下記の枠内の件にご留意いただきますようお願いいたします。

I. リーディング全体に関わる指導内容

- 1) 速読と精読のバランスをとる。
- 2) 訳読のみに終わらず、リーディングに関わる各スキルの指導を行う。
- 3) ボトムアップ的な練習とトップダウン的な練習をバランスよく行う。

なお、必要に応じて、以下のような点にも配慮していただきますようお願いいたします。

- 1) リーディング用題材は、各学部学生のリーディング力をふまえ、学生が興味・関心をもつ分野を中心に選定を行う。必要に応じて、authentic 教材を含める。authentic 教材を選定する場合、World News and Report, U.S.A Today, Christian Monitor, Reader's Digest など Plain English を用いてあるものを中心に選定するようにする。
- 2) 速読指導・精読指導のいずれにおいても、トピックセンテンスを含めたパラグラフパターンと構造にふれ、パラグラフリーディングの練習を行う。また、パラグラフリーディングの形式をとれない教材を使用する場合、それぞれの教材に応じた練習を行う。
- 3) Pre-reading, Reading, Post-reading の活動を念頭において授業を展開する。
- 4) 上記の内容に加えて、必要であれば、各種検定試験のリーディングセクションに必要なスキルを適宜授業で取りあげる。
- 5) 音読指導を行う場合、英語の音の特徴にふれた指導を行う。
- 6) 家庭学習を含めた教室外での Intensive reading と Extensive reading を意識した指導を行う。

II. 速読指導に関わる指導内容

- 1) フレーズリーディングの練習を行う。
- 2) キーワードリーディングの練習を行う。
- 3) 必要に応じて、skimming, scanning などの練習を取り入れる。

なお、必要に応じて、以下のような点にも配慮していただきますようお願いいたします。

- 1) 未知語の類推の練習を行う。
- 2) つなぎ言葉、語句等の繰り返し、平行構文などを手がかりに文の展開、未知のブロックを理解する練習を行う。
- 3) 複雑な構文を見抜く練習を行う。
- 4) 新聞記事などを題材に選ぶ場合、見出し語・リードの部分から、内容が類推できるようなスキーマを活性化させる活動を取り入れる。
- 5) 教材に事実と意見の部分が見られる場合、事実と意見の部分を区別して、教材を理解するような練習を行う。

III. 精読に関わる指導内容

- 1) 従来の精読の授業に、Iのリーディング全体に関わる指導内容、にあげる指導内容を加味して授業を行う。
- 2) 学生にとって難解、または有益と思われる語句、文、文法事項をとりあげて説明を行う。

リスニングに関する共通指導項目 2007. 12. 11

英語コミュニケーション II,III および総合英語 I,II, III、の授業において、リスニング指導をする際には、枠内の件にご留意いただきますようお願いいたします。

I. リスニング全体に関わる指導内容

1) ボトムアップ的指導を行うとともに、内容把握活動のようなトップダウン的な指導を行う。

ただし、学生のリスニングレベルに応じて、その割合は変化させる。

2) 必要に応じて、聞かせるだけの指導だけではなく、音読、リピーティング、Overlapping

(テキストをみながら CD の音に重ねて発音してみる練習)、Shadowing などを指導の中に入れて、英語の音を把握する訓練を行う。

なお、必要に応じて、以下のような点にも配慮していただきますようお願いいたします。

1) 単語ごとではなく、意味グループやセンスグループ単位で理解する練習を行う。

リスニング活動において、英語の語順のまま理解できる能力を養成するため簡単な英文を英語の語順のまま理解するような速読指導も、必要な場合は指導に組み入れる。

2) リスニング教材の内容が一辺倒にならないように、必要に応じて様々なジャンルの英語のリスニングを指導する。

3) 学生のレベルに応じて、リスニング指導に用いる音声スピードを選択する。可能な場合は、ナチュラルスピードで話される authentic な教材も含む。

4) 上記の内容に加えて、必要であれば、各種検定試験のリスニングセクションに必要なスキルを適宜授業で取りあげる。

II. ボトムアップ方式の指導の留意点

1) 単語の音を聞き分ける練習を行う。

2) 文の強勢やリズムの練習を行う。

3) 音声変化に対応する練習を行う。

なお、必要に応じて、以下のような点にも配慮していただきますようお願いいたします。

1) 単語の音を聞き分ける練習を行う際、母音、子音の練習では、最小対立であるミニマルペアーを利用したりして指導する。特に、日本語では使用しなし英語特有の音に注意して指導を行う。

2) 英語の音声的特徴を含んだ各種連結、音の脱落、同化、その他の音変化の指導を行い、これらの特徴を理解し、慣れるとともに発音出来るように指導する。

3) 強勢、リズム指導、イントネーションパターンなどの指導を取り入れる。

III. トップダウン方式の指導の留意点

- 1) **トップダウンの指導方法として、全体把握から細部認識・部分的な理解へと行う。この際、背景知識を活性化させる Pre-listening 活動を取り入れる。**
- 2) **最初は発話内容のすべてを聞きとろうとせず、話のテーマや大意を把握させる。繰り返させる語句、特に強く読まれる語句等に意識をむける指導を行う。**
- 3) **情報として必要な部分のみに注意して聞く指導を行う。**

なお、必要に応じて、以下のような点にも配慮していただきますようお願いいたします。

- 1) 話題のキーになる重要語句や事実を探しながら聞き取る練習をする。キーワードやキーファクトを把握する練習を取り入れる。
- 2) 話の展開を積極的に予測する姿勢を身につけるように指導する。
- 3) 必要に応じて、メモやノートテイキングの要領を覚えさせる。
- 4) 講義などの英文のリスニングでは、文章構成や論理的展開に注意して聞くように指導する。特に、導入(Introduction)、本論(Body)、結論(Conclusion)に注意して聞くように指導する。また、順番、結論、逆説、付加情報、新しい話題に入る時などを示す、ディスコースマーカー (discourse markers) を手がかりにして聞く練習を行う。
- 5) 絵、写真、図表やビデオ、テレビなどの視覚情報を介しての聞き取る練習をする。

English Communication I (II,III) For Native Speakers of English

2015. 1. 27

英語コミュニケーションの共通指導項目(授業内容とその勉強方法)

Study Methods/Learning Environment Criteria (学習方法と教材内容)

General Guidelines

- There should be a balance between speaking activities that focus on developing fluency and those that focus on bottom-up skills (pronunciation, intonation, phrase-repeating, grammar patterns etc.)
- There should be a balance between *extensive* and *intensive* activities in macro-skill areas.
Extensive: (listening to songs, movie scenes, cassette tapes and video, writing learning logs, diaries, reading graded readers at appropriate levels, speaking with other students in the class).
Intensive: (listening for specific information, grammar-focused writing, reading shorter texts with difficult vocabulary, speaking activities such as repeating, memorizing, and form-focused practice)
- Students should have opportunities throughout the semester to work in pairs, groups of three, and larger groups.

Requirements

- (1) **Teachers should understand the roles of CALL programs in language education. Don't depend too much on the CALL programs.**
CALL と母語話者としての役割を十分理解して、授業デザインを行うこと。
- (2) **Students should have enough time to practice speaking English in the class.**
学生に、授業中に十分にスピーキング練習機会を与える。
- (3) **Students should have the opportunity to practice speaking and listening to English outside of class (self-access materials or teacher prepared materials)**
学生に教室外で、スピーキングとリスニングを練習する機会を与える。
- (4) **Students should have the opportunity to listen to "authentic" English study materials according to teacher guidelines (audio/video texts such as songs/music videos/movie scenes/T.V. scenes)**
学生に Authentic な英語音声教材を聞く機会を与える。
- (5) **Students should have opportunity to get teacher feedback. (checking homework, other informal teacher-student interactions)**
学生が、教員からの指導やフィードバックを受ける機会を与える。
- (6) **Students should have opportunities to learn vocabulary in context (written study materials / reading / speaking topics / listening content/ songs / music videos / movie scenes / TV scenes).**
いろいろなコンテキストを利用して、語彙習得の機会を与える。

Options

(1) Students should have opportunities to practice 4 skills through games/activities which students consider fun or interesting.

学生にゲームや活動を通して、4技能の練習をする機会を与える。

(2) Students should have opportunities to practice using internet to research topics in English

学生がインターネットを用いて、英語のサイトで色んなトピックを調べる機会を与える。

(3) Students should have opportunities to have conversations about topics of interest to students

学生が、自分の関心のあるトピックについて、会話をする機会を与える。

(4) Students should have opportunities to retell a story or event you've heard or read

学生は、聞いたり読んだりした内容を、繰り返して言ってみたりまとめて言う練習の機会を与える。

(5) Students should have opportunities to report topics interesting to oneself and/or others

学生が、自分や他の人が興味のあるトピックについて調べて英語で報告する機会を与える。

(6) Students should have opportunities to have an argument for or against an idea.

学生が、ある意見に対して、賛否の議論をする機会を与える。

(7) Students should have opportunities to have Repeating or Shadowing exercises

学生に、リピーティングやシャドーイングの練習をする機会を与える。

(8) Students should have opportunities to give feedback to the teacher about the class activities before final FD evaluation.

学生が担当教員の授業の活動や内容に関して担当教員にフィードバックを与える機会をもうける。

(最終講義に行う学生によるFD授業評価よりは早い段階で)

(9) Students should have opportunities to review, re-use, and recycle vocabulary (through vocabulary quizzes, games, vocabulary notebooks, etc.)

学生が単語を復習し、リーユーズ(別の場面で再び使用)し、さらにリーサイクル(いろんな場面で繰り返し使用)する機会を与える。

(10) Students should have opportunities to discover differences between spoken English and written English.

学生が、音声による英語と文字言語による書き言葉の英語の違いに気づき、理解するような機会を与える。